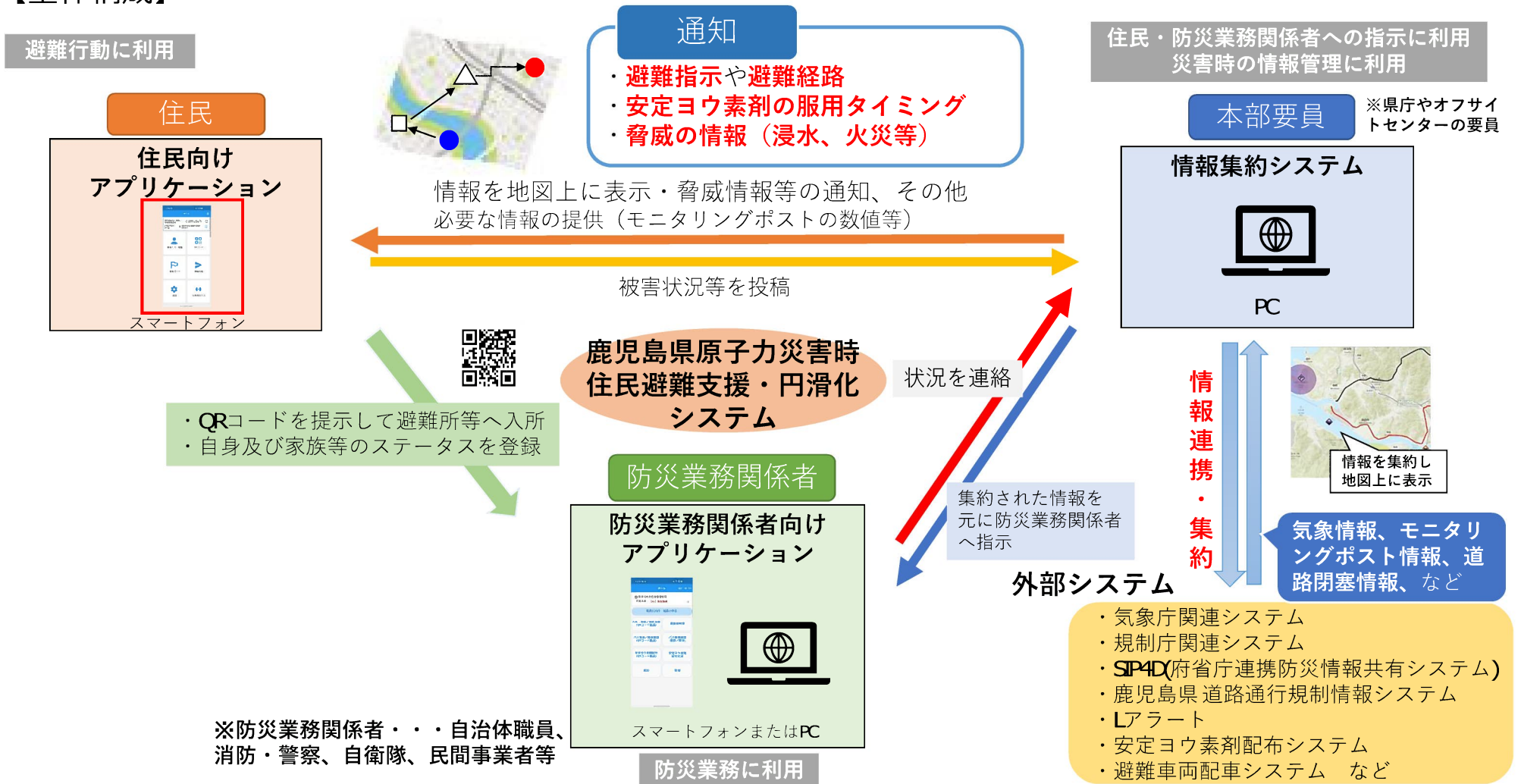


1. 鹿児島県原子力災害時住民避難支援・円滑化システムとは何か

- ▶ 鹿児島県原子力災害時住民避難支援・円滑化システムは、原子力災害時に避難を行う住民（PAZ, UPZ）への通知・情報共有を行うシステムである。これにあたり、住民の避難支援を行う防災業務関係者が取り扱う情報を集約し管理することができる。
- ▶ また、これまでは個別のシステムであったSIP4D、気象庁関連システム、鹿児島県道路通行規制情報システム等の関連システムからも各種情報を取得し、集約表示を行う。

【全体構成】



2. 鹿児島県原子力防災アプリ（住民用）

鹿児島県原子力防災アプリ（住民用）とは、

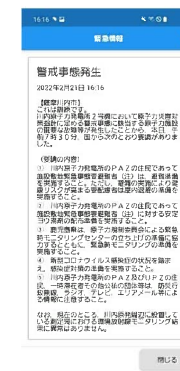
- 「登録された情報などを元にした、最適と思われる避難計画（経路）の確認」
- 「避難所入所手続などに使用するQRコードの提示」
- 「登録情報の関連付けによる、家族や友人などグループメンバーの状況確認」
- 「情報通知機能による避難経路に対する指示や、災害による危険地域などの確認」
- 「地域防災計画の確認」

などができる、スマートフォン用のアプリケーションである。

鹿児島県原子力防災アプリ（住民用）の機能は、

専用アプリケーションをインストールし、住民登録をすることですべての機能が利用できるが、

一部の機能は住民登録をしなくても利用することができ、専用アプリケーションをインストールしなくても通知情報などはLINEで閲覧可能である。



(情報通知例：緊急速報通知画面)

【利用イメージ】 ※グループ・・・避難行動を共にする「家族」や「近隣住民」等

情報入力・閲覧

- ・ 平時・災害時問わず、いつでも情報入力が可能
- ・ 一台のスマートフォンにグループの情報も入力可能。
- ・ 個人情報の入力は、表示用の「氏名カナ」、安定ヨウ素剤配布に必要な「生年月日」以外は任意。
- ・ 安定ヨウ素剤の問診情報を事前登録可能。
- ・ 学校や施設で配布されたQRコードとの紐づけが可能。

※ 情報入力の一部はチャット形式の操作画面を予定。

情報ガイド

- ・ 予め設定されている防災関係情報へのリンクが表示される。

設定

- ・ プライバシーポリシーやライセンスの確認。
- ・ 通知受信の制御設定ができる。
- ・ 複数言語切り替えに対応。



(ホームメニュー画面)

QRコード



(QRコード提示) (住長・グループ一覧)

- ・ 避難所入所時、避難車両（バス）乗車時、避難退域時検査場などで「QRコード」を表示して円滑に避難手続。
- ・ あらかじめスマートフォンに登録されているグループの一覧表示で、「誰が、いつ、どの場所にいるか」のステータスを「避難車両（バス）乗車時」「避難所名」「避難退域時検査場」等で確認できる。
- ・ グループ登録をしている場合、一台のスマートフォンで全員手続きが可能。

情報投稿

- ・ 利用者が災害被害情報を投稿して、その情報を防災関係者が閲覧できる。

情報通知

- ・ 災害時に情報集約システムから緊急速報として情報が通知される。
- ・ 通知される情報は、緊急性の高い情報以外は個人の設定によって受信設定を変更することが可能である。
- ・ 安定ヨウ素剤の服用タイミングが通知される。

※ 情報通知の一部はチャット形式の操作画面を予定。

避難地図表示



(避難地図)

- ・ 登録された情報などを元に、避難所までの避難計画（経路）を表示することができる。
- ・ 災害による危険地域などの確認ができる。
- ・ 避難経路上に危険地域が有るかの確認が出来る。
- ・ 迂回路の指示が有れば迂回路の確認が出来る。

災害時の入力

- ・ 災害時に使用して、事前に登録した情報の更新を行う。

3. 鹿児島県原子力防災アプリ（要員用）

鹿児島県原子力防災アプリ（要員用）とは、災害時に、

- 「QRコードを利用した一時集合場所での受付」
- 「QRコードを利用した避難退域時検査場所登録手続」
- 「QRコードを利用した安定ヨウ素剤の配布手続」
- 「QRコードを利用した避難所への入所手続」
- 「システム内の登録、ステータス情報を通じた住民情報の確認」

などができる、スマートフォン用のアプリケーションである。

鹿児島県原子力防災アプリ（要員用）の機能は、専用アプリケーションをインストールすることで、各種機能が利用できるが、防災業務関係者毎に設定された権限により利用できる機能は異なる。

※ 住民向け機能を利用・確認する際は住民向けアプリケーションの別途インストールが必要。

【利用イメージ】 ※グループ・・・避難行動を共にする「家族」や「近隣住民」等

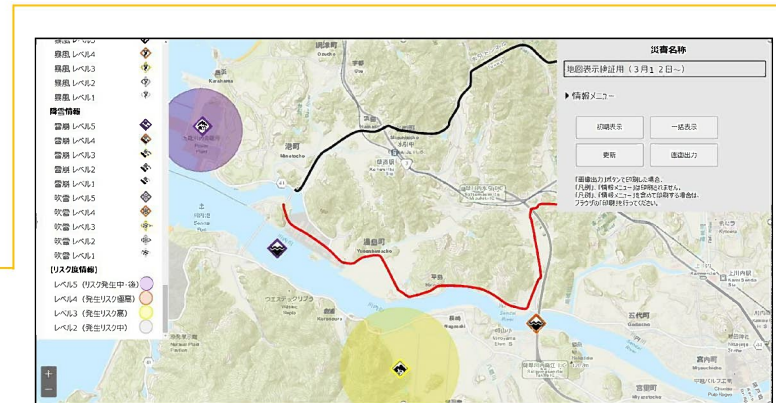


4. 情報集約システム

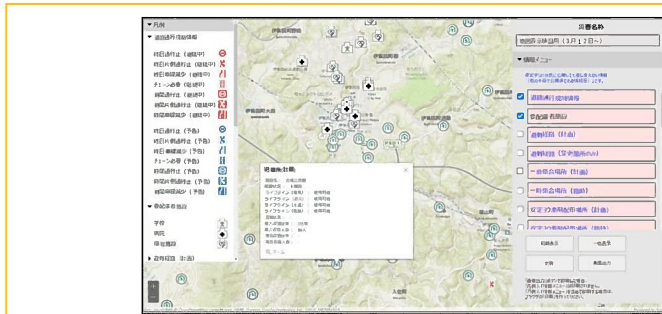
情報集約システムとは、

- 「地図上で状況・情報の確認および登録」
- 「避難経路（迂回路含む）の設定および通知」
- 「要配慮者施設などに対する（避難車両）配車情報を表示・閲覧」
- 「防災業務関係者への指示（情報共有）」
- 「平時における防災対応・準備としての各種情報管理」

などができるシステムである。



※地図情報画面イメージ（避難経路と危険情報）



※地図情報画面イメージ（施設情報、道路閉塞情報）

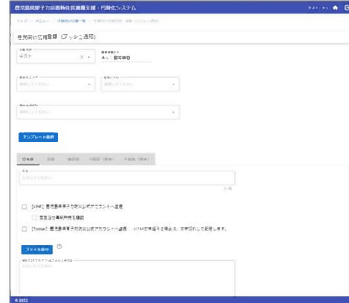
【情報集約】

地図情報表示機能では、「SIP4D」や「鹿児島県道路通行規制情報システム」などと連携し、ハザードマップ系情報、気象系情報、住民の通行等を阻害する情報（一般災害、道路閉塞情報）、関連施設情報などが表示可能である。
（※連携した情報の編集は不可）

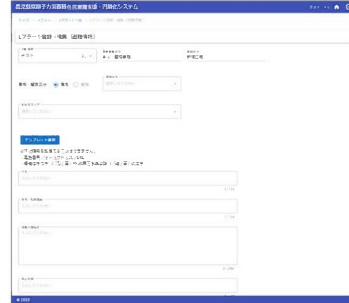
【情報通知】

「アラート」等と連携して住民へ避難指示や災害情報の通知が可能である。

住民向け広報登録画面

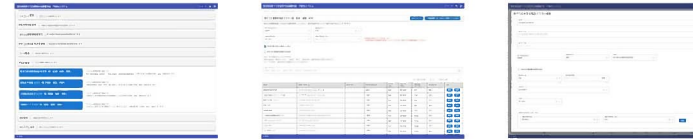


アラート登録画面



【マスタ管理】 【配車管理】

原子力災害関係施設管理画面



（管理メニュー）

（一覧）

（編集）

避難先などの災害関連施設情報や学校、病院など要配慮者施設の管理が行える。

また、「資機材管理システム（NEMS）」や「安定ヨウ素剤配布管理システム（各自治体個別システム）」などと連携し、資機材の在庫状況や、安定ヨウ素剤の配布状況の確認、避難車両の配車管理が出来る。